

<p>● 団体名</p> <p>岡山県高等学校文化連盟将棋部会 代表者 部会長 土家禎夫 記載者 副部会長 高原昭彦</p>
<p>● 所在地(市区町村名のみ)</p> <p>倉敷市</p>
<p>● 活動目的</p> <p>将棋を通じての高校生の健全育成</p>
<p>● 団体の紹介</p> <p>1980年に設立された岡山県高等学校将棋連盟を母体とし、岡山県高等学校文化連盟の部会の一つとして、岡山県の高校生の文化活動の一環として将棋を通じて高校生の健全育成を行ってきました。例年25校程度の高校が加盟し、年間4回の大会を開催し100～250名程度の参加生徒を集めており、年2回の全国大会と1回の中国大会に代表生徒を派遣しています。また、大会や錬成会を通じて技術の向上と礼節を高めることも行ってきました。他の部会の多くが少子化の影響による参加者の減少の傾向にある中、参加者数は維持ないし増加の傾向にあります。</p>
<p>● 助成を受けての活動内容</p> <p>この度は、平成31年2月1～2日に玉野市で開催された第27回全国高等学校文化連盟将棋新人大会を本部会が主管するにあたり、その運営費に助成をいただきました。この大会は、毎年夏に開催される全国高等学校将棋選手権大会と並び、全国の将棋を愛する高校生の目標になっている大会です。各都道府県を回り持ちで開催し、岡山県では初開催でした。大会には全国の予選を勝ち抜いた男子95名・女子130名が参加し、予選リーグ・決勝トーナメントで熱戦を繰り広げました。また、日本将棋連盟からプロ棋士を3名(有森浩三七段・菅井竜也七段・今泉健司四段)招聘し、指導対局や解説をおこなってもらい参加者の棋力向上や交流を行いました。貴財団からの助成金は、プロ棋士の派遣費の一部に充てました。</p>
<p>● 助成を受けての成果</p> <p>3名のプロ棋士には、選手の対局にアドバイスしてもらうとともに、2日間にわたって100名以上の生徒に指導対局を行ってもらうことができました。また、男女の決勝戦の大盤解説をおこなってもらい、いずれも大変好評を博しました。</p>
<p>● 今後の活動の課題点</p> <p>大会が成功し、岡山県の高校将棋界が大きな盛り上がりを見せましたが、岡山県代表の生徒の入賞はかきませんでした。今後はこの盛り上がりをもとに岡山県のレベルアップにつなげていくための方策を行っていきます。</p>
<p>● 問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)</p> <p>TEL 086-255-5013</p>